

たまねじトピックス 府中校



春季防災訓練を実施！

5月16日に当センターで防災訓練を実施しました。今回は放送で知らされた火元に対して災害時の担当がそれぞれ対応する初めての試みを取り入れ、総勢193名の訓練生と24名の職員が連携し、避難開始から人員確認・避難完了まで7分で避難を完了することができました。

東京消防庁の統計によりますと、東京管区内で昨年度は5190件の火災があったそうです。出火原因の1位は不審火であり、これが全体の31.2%で2位はたばこの不始末で24.1%です。

このことから、火災は管理者が注意していても発生するおそれがあるため、火災を未然に防ぐ努力だけでなく、起こった時の迅速な対処が重要となってきます。

そこで、従前より当センターでは防災訓練にあわせて、訓練生が就職先および地域防災の強化にも貢献できるよう、消火器訓練や通報訓練、AEDの訓練を実施しております。

これからも府中校は、訓練生が実生活や就職先で活躍できるような支援活動を展開していきます。



通報訓練・AED訓練も同時実施！



日常生活で人が倒れた場合、周りに居合わせた方は動揺し何をしたらいいのかわからないケースがあります。府中校ではそのような場合でも的確に対応できるように、消防訓練と併せて通報訓練・AED訓練を実施しました。

応急救護の基本は救命の連鎖と言われ、心停止の予防、早い119番通報、早い心肺蘇生とAED、救急隊・病院での処置です。

人が倒れた時に病院での処置をすぐに直接受けられればいいのですが、病院からは遠いケースがほとんどです。東京消防庁では連絡を受けてから現場に駆け付けるまで平均7分35秒かかるといわれていることから、まずは周りに居合わせた方が救急隊が到着するまで速やかに救命救急と通報を行う必要があります。また、倒れてから3分以内に救命救急をおこなうと、50%以上の方が救命されるといわれています。

特にAEDは心臓の異常に対して有効な機器なのですが、心臓マッサージと人工呼吸も行わなければならないため、若干の訓練とかなりの体力を要します。

今回は各訓練の習得を主とし、各クラスの代表の方にAEDと心肺蘇生を体験してもらいました。体力に自信のある方でも額に汗をかきながら頑張っておりました。



府中校では求職者訓練・在職者訓練だけでなく、高校生向けの体験入校や、小学生向けの夏休み工作教室を実施予定です。次号以降で日程を発表しますので、ぜひお見逃しなく！

安全衛生部会（電気・通信工事科）

